

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年2月28日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考
							評価結果	
鹿沼市地域公共交通活性化協議会	関東自動車株式会社	リーバス栗栗野線の運行	<p>【「鹿沼市地域公共交通計画」に基づく事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「鹿沼市地域公共交通計画」に基づき、運賃改定作業を実施(新運賃形態は、令和5年4月～)。 新運賃での運行することで、運賃収入の増加及びそれに伴う収支改善を図れるよう努めた。 <p>【高齢者や子ども向けのバスの乗り方教室の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者サロンを活用した、乗車体験型バスの乗り方教室を1回(7月)開催した。 小学校向けに、乗車体験型バスの乗り方教室を5回(9月～11月)開催した。 環境学習と連携をした親子向けバスの乗り方教室を実施した。(12月) <p>【利用者を起点とした効果的な利用促進施策】</p> <p>20歳を迎える者に、1回限りのバス無料券を発行するとともに、その活用方法(帰省の際や、飲み会等に行く際の利用案内)や、バスの乗り方案内について周知した。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標利用者数 31,105人 (実績 22,246人)	<p>平成29年 30,139人 平成30年度 33,507人 令和元年度 32,502人 令和2年度 24,949人 令和3年度 21,617人</p> <p>(目標達成率 71.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で、利用者数が伸び悩み目標を達成できなかった。 事業については、「鹿沼市地域公共交通計画」に基づき、路線再編を実施することで、利便向上を図る。 高齢者や子ども向けのバスの乗り方教室は、地域の状況に即した、実践的な形で継続していく。 	<p>地方運輸局等における二次評価結果</p> <p>・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。</p> <p>・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。</p> <p>・無料乗車券の発行など利用促進策を実施したことは評価できる。</p> <p>・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。</p>	
第三者委員会における各委員からの意見								
<p>令和4年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組みを行う上で必要な観点であり、考慮されたい。</p> <p>○お出かけの様式の変化について、新しい行動パターンに対応する交通システムについても、今後積極的に仕掛けることが重要。</p> <p>○ポイントは、「データ」や「デジタル化」であるが、デジタル化するだけで課題や問題点が解決するわけではないため、都県や市町村との日常的なコミュニケーションや議論が重要。</p>								